

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
<https://jfpj.jp/>
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2025
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

国内初、Jークレジット預金取扱開始

調達先は全国7団体・企業から

商工組合中央金庫

商工組合中央金庫(東京都、関根正裕社長)は国内初となるJークレジット預金について、Jークレジットの調達先を全国の木材団体・企業7者に決めた。同サービスは定期預金の一種で、満期日に金利に加えて、Jークレジットによる排出CO₂オフセットを付与するもの。

同社は1月から初回 円を募集し全額を販の2024年度募集分 売。25年3月10日からとして、総額100億 26年3月10日まで1年

間の預け入れを開始した。1社5000万円からで、満期日に所定の金利と元本5000万円につき、5トCO₂分のオフセットを付与する。

クレジット調達先は北海道庁、秋田県林業公社、栃毛木材工業(栃木県)、江間忠本

た企業は森林保全活動企業として環境貢献に参加できる。

中国木材は200トCO₂のクレジット

を販売した。同社は11年に山林購入を始め、社有林面積は全国で約1万1000ヘクタール。創出されたJークレジットの262社のプロジェクトが24年6月に承認され、同社初の創出分として森林Jークレジット800トCO₂をJークレジットを広島銀行に販売した。今回担当したクレジットも熊本県で、今

後は奈良県や山口県、広島県の社有林でも準備を進めている。

江間忠本ホールディングスは中部圏を中心に6200社の森林を所有。このうち浜松市内の109社で今年7月に初めて承認されたばかりのJークレジットのなかから200トCO₂を商工組合中央金庫へ販売した。「需要も販路もこれから勉強、という段階で、短期間で初販売に至れたのはタイミングが良かった」(江間忠本社長)。「預金の金利に

付加価値を付与すると、試みは非常に興味深いと思う」(伊藤泰彦会長)。

中江産業は、200トCO₂のクレジットを販売した。同社は全国で6500社の森林を管理し、毎年1万5000トCO₂のクレジットを創出している。今回の取引組みを機に「Jークレジットの市場拡大、需要喚起に期待したい」と話した。

Jークレジットは、省エネ設備導入や森林管理などにより削減・吸収された温室効果ガスの量を「クレジット」として国が承認し、売買する制度。排出削減が得意な企業からクレジットを購入することによって、排出量削減目標達成を目指すほか、得意な企業の事業支援につながる。各国が制炭素の推進に活用している。日本では23年10月に東京証券取引所でカーボン・クレジット市場が開設されるなど、企業を結び付ける場も増えている。